

# 今工会報

第44号

発行所

☎557-0024

大阪市西成区出城1-1-6

大阪府立今宮工高校内

電話 06 (6631) 0055~7

編集発行人 吉田信夫



2021年10月30日  
**今工会総会**  
 母校体育館  
 総会后  
 実習室と今工会館  
 資料室を見学



## 2023年度 今工会総会 ご案内

日時：10月22日(日) 11時開会

場所：天王寺「都シティーホテル」

会費：6000円

コロナも何とか下火になり、このまま収束してくれることを願いながら、今年度は懇親会も含め実施することにしました。しかし、安全を考慮し、広い会場に致しました。また、来年は今工創立110周年、いま学校、PTA、と共に検討しています。その折はよろしくお願ひ致します。

総会の出欠、近況よろしくお願ひ致します。

**今工創立 110 周年  
 記念事業への募金  
 のお願ひ** 詳細は2面に



**挨拶****今工会会長 野田 昌洋**

今工会の皆様お元気でお過ごしでしょうか。

この3年間、コロナウイルスの感染拡大で大変な生活を強いられました。一昨年は母校体育館で

の総会のみ、ようやく昨年は懇親会をふくむ理事会開催でした。

世の中では、ロシア侵攻によるウクライナの戦争や地球温暖化による気候変動や環境破壊など、人類の生存さえも脅かすような問題が起こり、いろいろ考えさせられます。

こうした中で、我々は自分ができることを一歩一歩着実に成し遂げ、希望を持って進んでいくしかありません。

歴史と伝統のある我が母校の3万人以上の卒業生は、社会で各々貢献し、多くの方々がものづくりに寄与しています。

来年は110周年を迎えます。その節はご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。

生徒の減少で工科高校の現状も厳しく、今工も1学年6クラスになっています。しかし企業は実業高校の卒業生を求めていますし、専門的技術を学び大学へ進学した卒業生にも大きな期待が寄せられています。工科高校の抜本的な改革が求められているのではないのでしょうか。

先輩として、今工の発展と、後輩の生徒たちが希望を持って学校生活を送れるよう支えていきたいと思ひます。今工会の活動にご支援ご協力引き続きよろしくお願い致します。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます挨拶と致します。

**110周年について****会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。**

来年の今工創立110周年記念行事の実施にあたり、別紙の内容で記念事業基金の募金をお願いすることになりました。

なお、募金を戴いた方々には記念誌と記念品をお渡しするとともに、式典と祝賀会の出欠確認をしたいと思ひます。

(なお、祝賀会費は6000円から7000円を予定しています)

**ご挨拶****学校長 阿部 政之**

今工会の皆様におかれましては母校発展のためご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

学校では4月1日以降、マスク着用を求めないことが基本となり、コロナ感染症が5類へ移行したことで、マスク着用者が減少して生徒の表情がよく分かる従来の状態に戻りつつあります。

コロナ禍の3年間、生徒の皆さんが実り多い高校生活を送れるよう、本校では大幅な教育環境の整備を行いました。具体的には、各HR教室のエアコン更新と液晶プロジェクター・無線LAN・生徒用ロッカー設置、生徒1人1台端末の貸与、実習棟無線LAN設置、総額約1.4億円の産業教育装置(17装置)導入、和式トイレの一部洋式化、水道蛇口の非接触化、体育館用大型液晶プロジェクター設置等です。

来年度、本校は創立110周年を迎え、さらなる飛躍に向けて邁進しております。

今後とも、生徒育成と教育環境の向上に努力する所存ですので、今工会の皆様におかれましても、ご支援の程よろしくお願いいたします。

結びに、今工会のますますのご隆盛と皆様のご活躍ご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

**母校の様子1**

●2020年より生徒の減少で機械系が1クラスとなり、電気系2クラス、建築系1クラス、グラフィックデザイン系1クラス、工科系進学専科1クラスの6クラス規模となりました。

●部活動 2021年 日本拳法部・全国大会出場  
陸上競技部・棒高跳びインターハイ出場  
水泳部・リレーとバタフライで近畿大会出場  
2022年 日本拳法部・全国大会出場  
陸上競技部・棒高跳びインターハイ出場  
放送部・NHK杯全国高校放送コンテスト・ラジオドラマ部門出場  
山岳スキー部・全国大会出場  
軟式野球部・定時制・大阪連合で全国大会出場

### 令和4年度会計決算報告

#### 【一般会計】

##### 1.収入の部

前年度繰越	16,205,135
会費収入	1,706,000
全日制	1,608,000 (201名*8000円)
定時制	98,000 (13名)
銀行利息	0

決済口座のため利息なし

雑費収入	34,086
卒業生寄付等、15期生学年費残額寄付	86円
合計	17,945,221

##### 2.支出の部

庶務費	庶務費総計	140,196
理事会・幹事会費		15,446
卒業生記念品等		124,200
慶弔費		0
庶務部費		550
編集費	編集費総計	0
会報発送諸費		0
会報発行諸費(会報代含)		0
編集部費		0

事業費	事業費総計	663,000
支部・クラス会補助費		0
広報関係費		0
部活振興費		300,000
事業部費		363,000
会計費	会計費総計	0
会計監査費		0
会計部費		0
事務局費	事務局費総計	99,276
事務局費		99,276
企画室費		0
調査・通信・交通費		0
費目小計		902,472
予備費		1,151,810
合計		2,054,282

3.差引残高	収入額	¥17,945,221
	支出額	¥2,054,282
	差引残高	¥15,890,939

令和5年度へ繰り越し

#### 【周年記念事業基金】

##### 支出の部

##### 収入の部

繰越金	2,746,168
銀行利息	0
合計	2,746,168

110周年会合昼食代	15,000
合計	15,000
差引残高	2,731,168

令和5年度へ繰り越し



#### 令和3年3月卒業 ・全日制

#### 令和3年、4年新幹事紹介

#### 令和4年3月卒業 全日制



機械系	殿村 涼	平野 滉一
電気系A	軒野 隼仁	森田 誠也
電気系B	小谷 遼	保高 烈
建築系	北田 大和	黒木 涉伍
	岡本 恒	
グラフィックデザイン系		
	石橋 空哉	西脇 憧
工学系進学		
	柴下 智拓	田口 祥汰



機械系	小野 海舟	左近 翼
電気系A	河内 佳己	村上 浩太郎
電気系B	永松 慧士	金子 竜也
建築系	山本 来夢	藤井 里帆
グラフィックデザイン系		
	岡田 優作	川島 英二
工学系進学		
	多田 昇平	堀口 拓海

#### 定時制



3年制	藤本 里樹	八田 勝人
4年制	奥野 優一郎	金沢 采樹



3年制1	末永 晃晴	浜辺 愛美
3年制2	黒岩 真秀	松川 聖来
4年制	浅居 蓮夢	上田 真輝

#### 【部活動

#### 振興会援助基金】

##### 収入の部

繰越金	1,401,044
銀行利息	12
一般会計より	300,000
合計	1,701,056

##### 支出の部

陸上競技部近畿大会	
援助	30,620
日本拳法部全国大会	
援助	60,240
放送部全国大会	
援助	187,960
定時制軟式野球部全国大会	
大会援助	56,560
山岳スキー部全国大会	
援助	43,850
合計	379,230

差引残高 1,321,826

令和5年度へ繰り越し

## 柔道の恩師である接骨医の治療に感動し接骨医に 全国大会出場も

昭和32年印刷工業科卒  
呉屋忠成氏と同級生



右が呉屋氏、左が野堀氏

羽曳野市恵我之荘の呉屋接骨院を同級生の野堀荘三郎氏と訪問しインタビューさせていただきました。

当時の学校長は又野重信(東大卒)先生で、担任は文蔵哲雄(千葉大卒)先生、3年間今工生として高校教育を受けました。

戦争による荒廃から立ち直り、新しい時代を生き抜こうという活気に満ちあふれていた時代でした。当時は印刷工業科、現在はグラフィックデザイン系に変わっています。

在学中の思い出では、何と言っても全国高等学校柔道大会大阪予選で府下優勝し大阪代表となり、昭和30年8月6日、朝日新聞主催第4回全国高等学校柔道大会に出場したことです。

青春の1ページ・今宮中学の時、大阪でチャンピオンになり、今工でも柔道部に。今から68年



大阪予選優勝・前列中央が私

前の昔かし、昔かしの話し。

竹村、渡辺先生と吉田先輩に引率され、選手5名〔川崎、平野、長谷(建築

科)の3名の先輩と印刷科の松本、そして私呉屋]で夜行列車で大分県へ。全国優勝は出来なかったが、全員よく頑張ったと思う。

卒業後、川崎氏は公務員、平野氏は大手建設会社、長谷氏は不明、松本氏は読売新聞社と世に羽ばたいた。

小生は、大阪での試合で左肩を負傷し、接骨医を営む柔道の恩師から、「手術をするか、接骨術で治療するか自分で決めよ」と言われ、先生の日本伝導の施術で治療。その施術に感動し、柔道整復師の世界に入り現在に至っている。

文蔵先生から、君達に年間200万円が国から援助されている、しっかりと印刷業に付くようにと言われていたのに耳が痛い。

年1回の東京・講道館での高段者試合に20回出場、講道館より柔道7段を授かり柔道師範。その後松原市柔道連盟の会長を拝礼、現在は退任している。

今工での美術の授業で、お名前は覚えていないが講師で来られていた先生のことが印象に残っていて、当時から趣味として絵の鑑賞を。脳のどこかで記憶していたのか61才で大阪芸大学に入学、6年で卒業し、今、筆を持って好きな絵を描くのを趣味としている。



大阪芸大卒業制作の100号の絵。ルーツが沖縄なので沖縄の歴史を題材に。医院の待合室に。

## 「我がなつかしの今工時代」

昭和32年機械科定時制卒 柴田 勝

昼は大阪市大正区泉尾浜通にある駒井鉄工所大阪本社に勤め、鉄骨工事の積算見積の教育を受け、大手ゼネコンからの指示の日に見積りを提出すべく、昼夜頑張りました。

夜は今工機械科で4年間学び、修了後福岡市東区にある九州駒井鉄工所に転勤し、博多の人間として日々励みました。

国家資格の1級建築士に合格できたことはありがたいことでした。

その頃、会社の同僚の女性と結婚し、古賀市という博多湾沿いの松林のたもとに住居を構え静かに住んでいます。

地域の民生委員も2期6年間勤めさせていただきました。(福岡県古賀市在住84才)



## 「半世紀以上を プラスチックの世界で」 昭和39年度印刷工業科卒 浅野典成

卒業の時、将来は電子工学の知識が必要になると考え、大学を受験しましたが失敗しました。



その後小さなプラスチック会社でアルバイトを3年間。それがきっかけで、プラスチック製品の仕事を将来の仕事にすることを目指し、大阪市立工業研究所の研究生になりました。工研では高分子化学の基礎から、原料、成形加工技術、金型の知識を取得しました。

そしてプラスチックメーカーに就職しました。就職した会社には、私が得意とした射出成形がまだ導入されておらず、将来量産が可能な射出成形技術の導入と顧客のニーズに合った製品開発を提案し、そして会社が射出成形メーカーに変身し、大きく成長しました。25年間勤めました。

しかし、平成5年バブルがはじけ、会社も経営危機に陥り、リストラで退職する羽目に。48才でやむを得ず独立し、KKアテックスを創業しました。

「プラスチックで芸術を創造する」をコンセプトに、環境に優しいものづくりを目指し、省エネをキーワードに設計提案のみのフラプレスメーカーとして業績を伸ばしてきました。

しかし、本来のメーカーになるためには新しいテーマに挑戦することが必要だと考え、東大阪に自主工場を建設し、開発・提案型企業として一貫生産できる仕組みを作りました。

プラスチック業界に足を踏み入れ半世紀以上になり、今年創立30周年になります。

経済産業省から「はばたく中小企業300社」に、地域未来牽引企業になって大阪府からは「匠企業」に、東大阪からは「ものづくり大賞金賞」を受賞しました。令和3年には中小企業振興に貢献したことで「旭日栄光章」を叙勲しました。今後もプラスチック業界の発展に尽力したいと考えています。

## 「目標に向かって一生懸命 取り組むこと」を信念に」

平成6年建築科卒 今井龍一

1990年3月末、今工OBでもある父から高校の3年間にしかできないことを見つけて取り組むのが大切であるとの示唆があった。その数日後、今工水泳部顧問の山田昭人先生から自宅に突然電話があり、練習会の案内を受けた。これだ！と直感して参加し水泳部に入部。そのおかげで在学中の私は水泳9：勉学1（試験期間中は勉学10）の割合で充実した日々を送ることができた。

今工生活で得た最大の財産は、山田先生との部活動生活を通じて“目標を設定して何が何でも達成する強い気持ちを持って一生懸命に取り組む大切さ”を身をもって学んだことだ。

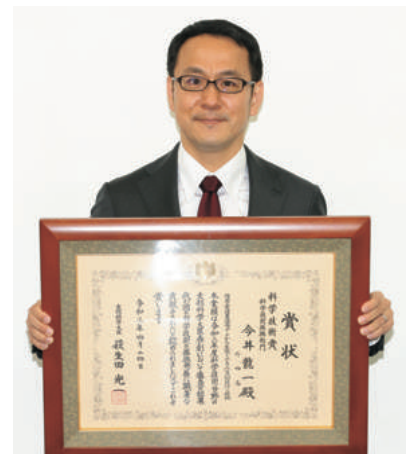
勉学面では入学時から関西大学への進学を目標にして励み、実現ができた。もちろん、学生生活中にたくさんの失敗や辛い経験もあり、それらを含めて得たことが血となり身となったと思う。

大学進学後は、遊び9：勉学1であったが4年生まで無事進級することができた。そして恩師の三上市藏先生との出会いがもうひとつの

転機となった。三上先生の奨めで大学院に進学し充実した研究室生活を送ることができた。

2000年4月に建設コンサルタントの日本工営に入社し、2009年3月に東京大学にて博士号取得、2010年8月には国土交通省へ転籍して約5年在籍した。現在は法政大学にて教育・研究に取り組むとともに、関西大学の先輩後輩と会社も経営している。また、国土空間や都市活動を測って分析する研究業績が評価されて国土交通大臣、文部科学大臣や総務大臣から表彰を受けた。2021年度には東京大学の客員教授を務める機会にも恵まれた。こうした業績を残せたのは今工で体現した

“目標に向かって一生懸命取り組むこと”がすべての根源であると断言できる。気づけば私も47歳。今後も精力的に活動を続けながら、自身の経験や知識を後進に伝えることに注力していきたい。



法政大学 デザイン工学部 教授

〔携帯電話基地局データを用いた人流データの生成技術、3次元情報の利活用のための社会基盤技術の開発等による受賞業績多数〕

## 「柔道部の同級生と今も親しく」

昭和43年電気科卒 富平修司

創立110周年を迎えることを知り、私が未だに今工に入学したばかりの生徒でいることを感じて不思議な思いがしました。考えてみれば、入学した当時は創立50周年を迎えた直後であり、大先輩の卒業生の活躍が眩しく輝いて見えていた。そしていま、その倍以上の時間が経過しましたが、後輩たちには我々がどのように映っているのだろうか。

私の人生は今工の同期生との切磋琢磨のなかで創られてきた。いまでも親しくしている仲間に、建築科の藪内粧一郎君、山家谷一人君、機械科の生島清好君らがいる。彼らとは柔道部で3年間汗を流し、また体育祭が行われると、みんなが各科の応援団長として、必死で応援合戦を繰り広げた。「印刷科」の中村君も柔道部兼応援団長であった。柔道部が当時の今工を盛り上げる原動力であったのである。



同期生と数年前に今話題の吉野ヶ里遺跡など、佐賀・長崎を旅行した時のものです。左が私、中央が山家谷君、右が藪内君です

## 「スタートの1970年」

昭和45年機械科卒 妹尾義博

1970年は、卒業の年、その3月10日に住友金属工業・鋼管製造所に入社した年です。

今工での思い出といえば勉強した思い出は余り無いのですが良き友人に恵まれ3年間毎日、楽しく高校生活を過ごせたことです。

特に卒業記念旅行では2月の寒い中、友人4人でバイクと自動車ですべて四国一周をして車の中で眠ったり、かずら橋で温泉に入ったこと、凍結した道路で何度か転倒したこと等が思い出されます。

入社し第一陣の新入社員100名が10日間の全体研修を受講し、技術部計測管理課に配属されました。私が配属された計測管理課の業務は計量管理、計測管理、NDI（非破壊検査）機器の管理で、機械科出身でa接、b接も知らない私が加熱炉、熱処理炉の燃焼シーケンスの作成、製作をしたりしました。計量士の資格を取得、NDIでは全ての検

昭和43年3月に卒業して大学進学に失敗して就職。その後、一念発起して再受験、同志社大学工学部電気工学科に入学した。4年遅れの入学であり、卒業して就職するのが昭和51年のオイルショックの時期であった。

希望する電機メーカーは軒並み採用しておらず、年齢が4歳嵩張っている私にとっては大きな危機でもあった。その中でJRの前身の日本国有鉄道から募集があり、厳しい倍率のなかではあったが、今工時代の仲間たちの励ましや応援があって無事入社することができた。以来47年、JR西日本は退職したが鉄道OB会の支部事務局長として繋がりを持っている。また自慢話になるが、JR西日本での実績の一つとして「日本ロジスティクス大賞・環境賞」を受賞した。インターネットで「富平修司」と検索していただければその概要がいまでも出ている。

現在、若干の仕事の傍ら鉄道OB会の他、大阪府実業団詩吟連盟事務局長など諸々の詩吟の活動も行っており、詩吟教室も四カ所主宰している。いつまでたっても今工時代の応援団長として大きな声で発声することが心のよりどころとなっているようだ。

査方法の資格取得をクリアして業務に対応をしていました。



2001年1月からはNDI部門の業務拡張で新規事業部に出向しシームレスパイプの劣化診断、超音波探傷検査、渦電流探傷検査、製造設備の応力、トルク測定、船のエンジンフレームの検査等で数多くの国内、海外出張を経験しました。英語での客先との対応等にしんどい時もありましたが今となっては楽しい思い出です。

65才になった2016年個人事業主として独立し、滋賀県の溶接管製造会社、石川県のシームレスパイプ加工会社の品質管理、設備管理、安全管理等の業務対応をしています。

70歳を過ぎ、昔のような体力は有りませんが、お客様の要求に100%対応できるようこれからも頑張りたいと思います。

## 「温故知新」を持って変化に対応を 昭和58年建築科卒 小山正浩



早いもので、今工建築科を卒業して40年が経過しました。今工時代の3年間、硬式野球部で汗を流しました。当時のグラウンドが現在の新校舎の場所で、他のクラブと共同で使用

していました。

58年3月卒業し、当時(株)末広建設に入社しました。そして平成17年5月現在の(株)丸末と合併しました。

業務は引き続き継承し、建設事業部工事で40年にわたり施工管理に携わってきました。

丸末グループになって、白浜アドベンチャー

ワールドに約4年間単身赴任し、新築・改修・修繕工事に携わり、お客様に役立つ建物づくりに邁進しました。

ただ、この4年間は、コロナウイルス感染で経済が停滞し、建築業界も大変厳しい時期でした。2025年大阪万博開催がよい刺激になればと思います。

建築を通じて振り返ると、多くの方々に出会い、協力して頂き未来に残る建築物を完成させることができました。

2024年は(株)丸末は創業65年を迎えます。今工も創立110周年の節目の年ですね。「継続は力なり」。挫折に負けず努力の積み重ねの成果ですね。また、変化する時代にも対応が大事です。「温故知新」を持って変化しなければなりません。

今工の継続、益々のご活躍・ご発展を祈り。

## 44才で夜間部に入学 電気工事士2種資格を取り自信が 平成16年定時制電気科卒 小西信勝

平成16年に電気科を卒業しました。

当時44才で自営をしていましたが、仕事を早めに終えて、5時から夜間の部に入学しました。電気工事士の資格を得たいと、故山口先生や三好先生に教えていただきました。

当時は給食もあり学生時代に戻ったようで楽しかったです。おかげで第2種の資格も取得でき、自信もつきました。

現在63才になり、まだ現役で働いておりますが、体力の衰え、記憶の低下も感じる今日この頃です。

最近、「人生は何のためにあるのか、生きがいは何か」と考えることがあります。2年前に中型バイクの免許を取得し、ゴルフも始め、時間とお金の許される限り、楽しく生きていければよいと思っています。



一度きりの人生悔いのないよう皆さん頑張らしましょう。髪も少なくなり恥ずかしいので顔写真は遠慮させていただきます。

## 母校の様子2

2級建築施工管理技術検定1次検定  
に令和4年建築科2学年受験者  
22名全員と担任建築科教員が合格



令和3年から建築施工管理士補が新設され、検定が実施されました。合格すると士補の国家試験が得られます。

受験者全体の合格率が40%程度と厳しく、高校生が受験可能な資格では最難関の試験。令和3年卒業生は受験者39名全員、令和4年卒業生は2学年で受験し受験者31人が全員合格するという歴史的快挙を達成しています。

## 2022年10月今工会理事会



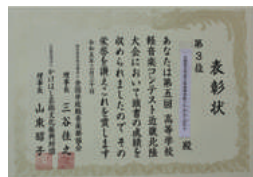
# 母校の様子3

## 部活動・軽音楽部

### 2023年第5回高等学校軽音楽コンテスト 近畿・北陸大会で3位に



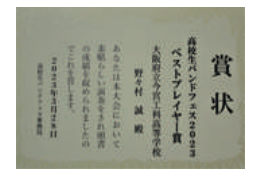
コロナに勝った！ 2018年秋芸術文化祭で全国（大阪代表）の出場権を獲得。迎えた2019



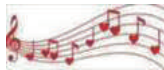
年春コロナ禍が勃発、出場予定の全国大会は幻と化した。以降ライブ活動がほぼ中止されるという悪夢。そして



22年秋となった。今工軽音楽部はそれまでの鬱屈を晴らすかのように爆裂した。アベテ、ハカスの聴衆を魅了した芸術文化祭、神戸フェス2



位、近畿北陸大会3位、勢いは止まらない。今工軽音楽部完全復活宣言!!



平成28年「課題研究」A3生徒制作



平成30年G3「課題研究」デザイン班制作

令和元年G3有志制作



## 学校正面の工場に「課題研究」で壁画制作

学校の正面にある浦野株式会社さんの壁に、平成28年に建築科の生徒がクラスの生徒の顔写真を題材に壁画を取り組みました。

門の反対側の倉庫の壁にも落書き防止のためと依頼があり、平成30年グラフィックデザイン系の3年生が取り組みました。

地域の子どもに見てもらえるよう子どもの好きな動物の絵に。天王寺動物園にいるフラミンゴ、トラ、ぞうなどを。かなり広く、メンバー5人なので半分まで。そして、令和元年に残りの半分の動物壁画を後輩のG3有志が取り組みました。

## 部活動 山岳・スキー部

### 工学系大学進学専科2年田中哲平君

私は小学校4年生から、スポーツクライミングを習い始めました。今工に入学後は、山岳部に所属すると共にクライミングジムとの両方で練習に取り組みました。1年生で近畿高校スポーツクライミング大会に出場、2年生の

冬に全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会に出場しました。その際、今工会から援助をいただき、万全の状態で大大会に挑むことが出来ました。この経験をこれからの人生に活かし大学進学し、将来はトレーナーとして社会に貢献したいと考えています。



## 山岳部OB会

2019年にOB会で「山岳部の記録」を約100ページにまとめました。そして2020年、今工会館資料室見学の後OB会を開催しました。資料室に保管されています。



山岳部バッジ

2019年、これまでの活動を、OB会として顧問の先生方のご協力を得てまとめました。

目次

山岳部部員(3学年時)と顧問の名簿	1
今工山岳部OB会と今工山の家の記録	2
山岳部登山の記録	35
文化祭での展示・部報等	86
OBの活躍	100